

## 英検まで20日を切りました。最後のラストスパートを

開倫塾

塾長 林明夫

1. 2015年度第1回英検の6月6日(土)まではあと19日で、20日を切りました。
2. 申し込みを行ったすべての塾生は「英検受験生」です。英検受験生としての自覚をもち、受験生としてのハードな長時間自己学習を家と開倫塾で徹底的に行ってください。

ただ、学習を行うにあたってあらかじめ理解しておくべき、大事なことがあります。なぜ英語を学ぶのか、英語の価値、英語を学ぶ意味を十分に理解し、なぜ英検を受験するのか、英検の価値、英検受験の意味も十分に理解して納得したうえで、ハードな長時間自己学習をスタートしてください。

例えば、英語はグローバル時代のコミュニケーションの道具として欠くことのできないものです。英語を身に着けるために、英検はとても役に立ちます。受験や就職にも有利です。まずはこのことを十分に理解してください。
3. 受験19日前ですから、朝から晩まで英検、英検、英検と、開倫塾にいるときばかりでなく家庭でも、学校に行っても英検の学習をしてください。土曜も、日曜もなく、朝から晩まで英検、英検、英検と「英検づけ」になってください。
4. 英検に確実に合格するための学習方法は次の2つです。第一は、家にいるときは四六時中リスニングの過去問CDを聞き続けて、CDの後について言える(これをシャドーイングできると言います)までにすること。これが第一です。
5. 第二は、英検の過去問や予想問題を毎日解き、一度解いて答え合わせをした問題を、徹底的に「復習」してすべて身に着けることです。
6. 「復習」は「方法」「やり方」が大切です。次に具体的な方法を示しますので、この通りに確実に実行してください。時間はかかりますが、必ず成功します。
7. リスニング問題も含め、
  - ①「問題文の本文」
  - ②「設問」
  - ③「選択肢」
  - ④「解答」
  - ⑤「解説」これが学習の対象です。

8. ①～⑤のすべてについて、「意味のよくわからない語句」があったら、「辞書を用いて意味調べ」をすること。辞書で調べた意味は、「単語ノート」に「書き写」し、「その場で覚える」こと。
9. 「よく読めない語句」は、辞書で「発音」の仕方を調べ、「ノート」に「発音記号」を「書き写」し、その場で練習して読めるようにすること。
10. 辞書調べが終了し、語句の意味と発音の仕方がわかったら、次にどうするか。①～⑤のすべてについて、「スラスラとよく読めるようになるまで音読練習をする」こと。何十回でも「音読練習」をすること。これが大事です。
11. 「スラスラとよく読める」ようになったら、次にどうするか。①～⑤のすべてについて、「正確に書けるようになるまで書き取り練習をする」こと。何十回でも「書き取り練習」をすること。これが大事です。
12. 以上の作業を、①～⑤のすべてについて時間をかけて延々とやり続けることです。いつまでやり続けられよいか。英検の試験会場で、試験の答案が配付される直前までやり続けること。これが大事です。
13. リスニング問題も含めて①の「問題文の本文」や②の「設問」、③の「選択肢」だけでなく、④の「解答」や⑤の「解説」まで、辞書で意味や発音を調べ、辞書で調べたことをノートに書き写し、その場で覚え、「スラスラとよく読めるまで音読練習」、「正確に書けるようになるまで書き取り練習」をすること。「練習は不可能を可能」にします。
14. 家では、リスニングの過去問 CD を聞き続け、CD の後について言えるまで、「シャドーイング」の練習に励むこと。「練習は不可能を可能」にします。
15. この「手順」「プロセス」を確実に守り、19 日間この通りに英検の受験学習をし続けること。過去問集と予想問題集を「スミからスミまで身に着ける」こと。これが英検絶対合格の学習です。
16. この英検学習には膨大な時間が必要です。ハードな長時間自己学習が必要です。家で学習ができない場合は、開倫塾の先生の就業時間中に先生の許可を得て空いている教室や空いている机・いすを自習スペースとして使って「ハードな長時間自己学習」をしても OK です。ただし、夜 10 時 30 分以降は絶対禁止です。速やかに帰宅し、家で学習してください。
17. この英検の学習方法は、高校入試の英語対策、大学入試の英語対策（大学センター入試、大学別入試）、TOEIC 対策、TOEFL 対策にもそのまま活用できます。この「テキストをスミからスミまで徹底的に身に着ける」という方法は、英語以外の外国語を学習するときにも活用できる学習方法です。
18. 開倫塾に在籍している間に塾生の皆様の「自己学習の方法」を「能力」として「育成」することこそが、開倫塾の社会的使命です。英検学習の際にも、この開倫塾の社会的使命を十分に自覚し、自己学習能力の育成に励んで頂きたく、お願いいたします。

(宇都宮大学大学院工学研究科客員教授)